

## ○ 委員長報告

6月定例会本会議で報告された建設委員長報告は、以下のとおりです。

令和2年6月定例会

### 建設委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、公共事業における新型コロナの影響についてであります。

このことについて一部の委員から、県下で施工中の公共工事における新型コロナの影響はどうか。また、どのような対策を行っているのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、従業員の感染が確認された場合、直ちに工事の一時中止を要請することとしており、また、県外からの技術者の来県が必要な場合など、受注者から工事の一時中止等の申し出があれば、柔軟に対応することとしている。

これまでに、県工事で従業員の感染は発生しておらず、受注者からの申し出により、工事の工期延期が1件、一時中止が2件、委託業務の工期延期が1件発生しているが、特段の支障はなく、影響は出ていない。

また、受注者に対して、工事現場での3密防止を要請しているほか、関係書類の提出や打ち合わせなどに、郵送やメール、WEB会議を活用するなど、感染防止対策に取り組んでいる旨の答弁がありました。

第2点は、とべ動物園における新型コロナの影響についてであります。

このことについて一部の委員から、新型コロナ感染拡大防止に向け、どのような対策を講じてきたのか。また、来園者数の状況及び来園者を呼び戻すための取組みはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、施設全体で4月14日から約1ヶ月の臨時休園の措置が取られたが、感染警戒レベルの移行に合わせ、5月12日から段階的に開園し、感染防止対策としてマスクの着用や入場時等の手指消毒のほか、レストランなどの人数制限等による3密回避などの措置を講じている。

また、来園者数は、休園の影響もあり、4月から5月は、昨年同時期より約10万人減少したが、6月からは徐々に戻っている。

今後は、ガイドツアー等のイベントを段階的に再開し、こどもの城などと連

携した周遊イベントの準備やSNSを活用した情報発信などにより、来園者の回復に努めていきたい旨の答弁がありました。

第3点は、緊急速報メールによる土砂災害警戒情報の配信についてであります。

このことについて一部の委員から、緊急速報メールは、どのようなときに配信され、また、どのような効果を見込んでいるのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、今回新たに開始した緊急速報メールは、土砂災害警戒情報を発表した市町内の携帯電話に県が一斉に配信するもので、今年5月26日から、松山市など13市町で実施している。

緊急速報メールによる配信の効果として、情報伝達手段の多重化を図り、プッシュ型で自動的に情報を配信することで、住民に切迫した危険度をより迅速かつ確実に伝えることとなり、早めの避難に繋がることを期待している。

今後とも、土砂災害による人的被害ゼロを目指し、県民が適切に避難行動をとるためのソフト対策を着実に推進していきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・新型コロナに係る広域航路事業者に対する支援
- ・橋りょうの維持管理
- ・ダム治水協定

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。